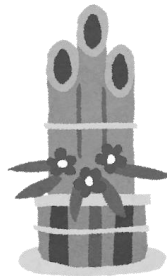


年頭のご挨拶

NPO法人日本社会福祉愛犬協会

名誉会長 西田まこと(参議院議員)



令和最初の年を迎えられた皆様は、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年は、日本社会福祉愛犬協会の皆様には大変にお世話になりました。

さて、昨年、日本社会福祉愛犬協会では、遺伝子検査をクリアした証明記録が掲載された血統書の発行を開始しました。近年、ペットの遺伝病がメディアでも度々取り上げられ、愛犬家の不安が高まるなか、このような血統書の発行を成し遂げたことは、血統書発行団体としてはもちろん初めての、画期的なことであり、これから、すべての犬を愛する人々が、安全で安心な子犬を家族の一員として

迎えることができ、適切な繁殖管理を行うことにより遺伝病の根絶に向けて前進できるということは大変素晴らしいことと考えます。そして昨年もうひとつうれしいことがありました。昨年12月日本社会福祉愛犬協会では日頃から親交が深い韓国 Korean Kennel Club より審査員を、また中国や台湾から来賓を招いて本部展のドッグショーを開催。民間国際外交による友好関係を深めました。政治的な外交ももちろん大切ですが、今、世界のあらゆる地域が混沌にあるなかでこのような地道な民間国際交流を絶やさないことが人々の理解を深め、世界の平和を維持する力になると確信しています。

まもなく通常国会が始まります。冒頭、令和元年度補正予算を審議しますが、そのなかには未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策事業が盛り込まれています。子どもたちが通る歩行空間で危ない箇所はどこか、生活道路の交通安全対策、交差点改良や道路幅の拡充など、全国の危ない箇所を緊急総点検し、市町村から上がってきたそのすべての危険個所に、防護柵の設置やカラー舗装を実施する予算を付けます。

この事業は、「地域ぐるみで子供を見守るための対策」がひとつの大きな柱となりますが、「地域ぐるみで子供を見守る」これこそは、日本社会福祉愛犬協会が犬のおまわりさん活動で実行してきたことであり、私はそれを誇らしく思います。

子どもの幸せが一番。——子ども目線の政治の実践に今年も励みます。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。